

エネルギー環境計画書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の 氏名)	株式会社みらい電力 代表取締役 河崎 慎吾
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在 地)	愛知県清須市西枇杷島町宮前1丁目1番地

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電 事業の概要も記載すること。)	平成27年11月に株式会社エヌパワーより電力小売事業を承継。 ・小売電気事業 法人と官公庁への電力供給をバランスよく行い、再生可能エネルギーを電源の主 体として運用している。 ・その他 電力の見える化サービスとして、30分ごとの使用電力量をお客様が確認すること のできるサービスを提供している。

(3) 担当部署

計 画 の 担 当 部 署	名称	管理運用部	
	連絡先	電 話 番 号	052-508-4322
		ファクシミリ番号	052-508-4327
		電子メールアドレス	info@miraiden.jp
公 表 の 担 当 部 署	名称	管理運用部	
	連絡先	電 話 番 号	052-508-4322
		ファクシミリ番号	052-508-4327
		電子メールアドレス	info@miraiden.jp

第1号様式 その2

(4) エネルギー環境計画書の公表方法

公表期間		2016年08月01日	～	2017年07月31日
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	http://miraiden.jp/	
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:		
	入手方法:			
<input type="checkbox"/> その他				

2 地球温暖化の対策の取組方針

太陽光発電を電源の主体としていくことで削減を図っている段階。
 今後、太陽光発電以外の再生可能エネルギー発電設備の電力として、水力発電電力の買い取りも行っていく予定。

3 地球温暖化の対策の推進体制

現在、主力としている太陽光発電設備での電力以外に入札等により、太陽光発電以外の再生可能エネルギー由来の電力の導入も行い、地球温暖化対策を行っていく。

4 特定エネルギーの供給に伴い排出される温室効果ガスの量(1kWh当たり)の抑制に係る措置及び目標
 (1) CO₂排出係数の削減目標(全電源のCO₂排出係数)

(単位 kg-CO₂/kWh)

項目	当年度のCO ₂ 排出係数	次年度のCO ₂ 排出係数	長期的目標年度のCO ₂ 排出係数
当年度の計画における目標値	0.410	2016年度以下	2017年度以下
前年度の計画における目標値	0.410	2015年度以下	2016年度以下

長期的目標年度: 2020年度

(目標設定に係る措置の考え方)

再生可能エネルギー発電の買い取りを増加することにより排出係数を下げる。

第1号様式 その3

5 再生可能エネルギーの供給の量の割合の拡大に係る措置及び目標

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の量の割合の拡大に係る措置及び目標

項目	当年度の利用量		次年度の利用量		長期的目標年度の利用量	
	利用量 (千kWh)	利用率(%)	利用量 (千kWh)	利用率(%)	利用量 (千kWh)	利用率(%)
当年度の計画における目標値	795	34.46%	840	30.07%	2017年度以上	2017年度以上
前年度の計画における目標値	355	43.79%	876	50.00%	2016年度以上	2016年度以上

長期的目標年度: 2020 年度

(目標設定に係る措置の考え方)

需要家拡大とともに、再生可能エネルギーの買い取り先を増加させる。
その一環として自社発電による、地熱発電所設置を計画している。

6 その他地球温暖化の対策に関する事項

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給の量の割合の拡大に係る措置及び目標

項目	当年度の利用量		次年度の利用量		長期的目標年度の利用量	
	利用量 (千kWh)	利用率(%)	利用量 (千kWh)	利用率(%)	利用量 (千kWh)	利用率(%)
当年度の計画における目標値	0	-	0	-	2016年度以上	-
前年度の計画における目標値	0	-	0	-	2015年度以上	-

長期的目標年度: 2020 年度

(目標設定に係る措置の考え方)

現在は行っていないが、廃棄物を燃焼させることによって発電した電力の購入を検討している。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置及び目標

火力発電は使用しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化対策の働きかけに係る措置

お客様用webサービスにより、使用電力量の見える化を図っている。
見える化を行うことにより、お客様の電力使用量について意識をしていただく。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置

省エネ設備への切り替えの推進をしている。